

ひろば大代

NO.231

大代公民館

大代町の皆様へ

東京都 米原光義

第一回都市とふる里を結ぶ交流会以来の久しぶりの帰郷で懐かしい皆様にお会いする機会を得ました。

昔を思い出しながら童心にかえり、楽しい運動会を皆様と過ごす事が出来た幸せな一日でした。

私共ふる里を後にした者にとってはふる里があると言う事が大きな支えであり、励みになっております。

年々過疎地となっていくなかで、皆様方は大代に残り守って下さいました。深く感謝の意をこめ、その様な気持ちから平成二年大代町民体育大会の優勝旗を、今回は大代の未来を託す小学校の皆さんに校旗と暁の超特急吉岡隆徳先生の額を贈らせて頂きました。

大田市大久保教育長、布野大代小学校長、市原市議会議員、笹木公民館長

の方々より郷土愛と言う過分なる言葉を頂戴し、大変恐縮致しておりますがその様な大げさなものではなくむしろ私にはお礼の意味の方が大きかったわけです。今度この様な機会を与えて下さいました大代小学校建設委員会永井会長、高村自治会連合会長、田辺婦人会長のお骨折に厚くお礼を申し上げます。

今後共我がふる里を末永く守り続けて下さる事をお願いし、皆様の益々のご健勝を心より祈念申し上げます。

大代町民体育大会を終えて

大代体協副会長 三宅計昌



大代町民の皆様から納めて頂いた会費と暖かい声援と御協力によって、今年も体育祭を無事終えることが出来ました。本当にありがとうございます。赤組の皆さん！優勝おめでとう。赤組の皆さんが全員一丸となつての勝利、目を見張るものがありました。

白組、紫組の皆さんの人数不足の組事情の中、全てのゲームで懸命に頑張っ

ておられる姿は有り難く、なおかつ深く感動致しました。そして黄組と青組の皆さん！あと一步のところまで優勝を逃し誠に残念でした。来年は「打倒！赤組！」ですよ。赤組の連覇を許してはなりません。

御多分に漏れず、島根の他の田舎町同様に大代も年々人口が減っていきます。体育祭だけでなく多くの行事を行う上に於て、人手不足の為に円滑には進み難くなっています。

大代町には一人暮らしの七十才、八十才の御老人が何人もおられます。

私共働き盛りの者と違って、年金で暮らしておいでになるこの方達に、毎年度も御寄付を頂き、多くの行事を行わなければならぬこの現実を非常に辛く、悲しく思っています。

故郷大代から遠く離れて生活しておられる方々が、盆や正月などに帰省された折、目にされている多くの行事はこの人達の手と御寄付で成り立っていることを忘れないで頂きたいと思っております。心の片隅のどこかで一寸だけ置いておいて下さい。

この「ひろば大代」が東京や大阪な

どの大代を遠く離れて生活しておられる方々にも読んで頂いていると聞いて一寸付け加えさせて頂きました。

最後になりましたが大代幼稚園、大代小学校の子供達及び先生方、又体育祭を色々とお手伝い頂いた皆様方に心よりのお礼を申し上げます。

来年も「第四十九回大代町民体育会で会いましょう。

赤組初優勝に酔いしれて

平 井谷英美

第四十八回大代町民体育大会は去年に続き、大代小学校校庭で開催された。

前日迄降っていた雨も上がって素晴らしい運動会日和になった。二日前の定例常会で農作業の手を休め、全員参加して頂くようお願いをしておいたので、赤組の参加者も多く選手招集もスムーズに出来た。これも勝因の一つであったと思う。

午前中の部が終了時に得点が第二位例年だと四位か最下位なのに...

「今年はいよいよ」とすると一位か二位だぞー」昼食を食べながらそんな声が飛

び交う。むすび弁当であったがとても美味しく食べた。

六月のナイター綱引大会でも赤組は優勝している。綱引だけは負けたくない。いや負けられない。「農協杯の綱引も頑張ろうぜ」ピストルを合図に綱を引き始めると少しづつ綱が寄って来る。引いて引いて、そして勝ち進み綱引き大会も優勝を手にした。

最後の種目の年代別リレーも珍しく三位に入った。もう優勝決定だ。

四十八回目にして赤組初優勝!

本当に思い出に残る楽しい一日でした。帰って自治会館でのなおらいのビールの味の良さ、優勝旗を持つての記念撮影、優勝おめでとうの祝電話も頂き、優勝に酔いしれた一日だった。

秋の全国火災予防週間 11/9-15

「気をつけて はじめは

すべて 小さな火」

ちようみんなんどうかい

大代小一年 ひえだりようすけ

9がつ27にち、ちようみんなんどう

かいがありました。大しろしようがっこうのこうでいでやりました。

おかあさんたちが、あさはやくからじゅんびをしていました。

ぼくたちは、しょうがくせいようのてんとにすわりました。ぼくたちがきてからほかのおともだちもきました。それからうんどうかいがはじまりました。おとなのきょうぎをすこししてから、ぜんこうりれえではりました。

いつみさんに、ぬかされそうだったけれどぬかされなくてうれしかったです。つきは、ようちえんのみんながおど

ったりして、それから「めぎせわあるどかっぶ」をしました。さいしょにおねえちゃんややって、つきにぼくがしました。たのしかったです。

あかぐみがゆうしょうしてよかったです。

たのしかったうんどうかい

大代小一年 たかむらひろき



「めぎせわあるどかっぶ」は、ぼくとおとうさんとおもいきってぼうるをけったのがおもしろかった。

りれえでおとうさんにうしろをみる
なといわれてくやしかった。こんどは
がんばるぞ。

赤ぐみがかつたからめちゃくちやう
れしかつた。おとうさんがかつこよか
つた。おかあさんはがんばりました。
ぼくはよその大きいおにいさんとあそ
んでいました。さえちゃんはおうえん
していました。るみちゃんはいっぱい
できました。

高山登山道草刈作業に参加して

上市 中垣貞義

今回自治会長として草刈奉仕の作業
に参加しました。大代町八代に生まれ
て六十八年目にして大江高山に（大家
側）に登りました。八代側には五十五
年ぶりの登山です。平素は我が大代の
町や近接した町村を眼下に眺めてみま
もっている泰然自若たる雄姿を備え、
南方には中国山脈を見渡し、北方には
日本海を眺め素晴らしい景色を見渡す
ことが出来ます。丁度奉仕の当日には
霞がかかっていて残念ながら素晴らし
い眺めとまではいきませんでした。

それでも大家の町や八代の家々は、は
つきり眺めることが出来ました。

登山道入口辺りでは昔懐かしいドン
グリを拾いましたし、途中休憩場所を
過ぎてからは栗やアケビ、梨等の山の
幸を拾ったり眺めたり、色々の樹木や
山野草の名前を思い出したり、聞いた
りと皆さんと久しぶりに童心に帰った
気分でした。

先頭に立って頑張って下さった草刈
機を使用の皆さん本当にご苦勞様でし
た。後からは刈ってもらった草を払う
だけでも大変なのに申し訳なく思っ
ています。草を取り除く間にも地元の方
輩の親切な山の歴史や場所の説明を拜
聴することが出来、参加して本当に良
かったなと思えました。体調も良くな
くて参加すること事態皆さんにご迷惑
を掛けると心配していましたが、皆さ
んの寛容な態度に助けられて何とか頂
上に辿り着くことが出来ました。

頂上には既に八代側からの草刈作業
の精銳の皆さんが先に登っておられ、
本場に若い力には感服致しました。

登山途中にも益田の一行三十名、岩
園市のご夫婦達とも出会い、和やかに

「ご苦勞様です。気をつけて」と八百
八米の山の峰で語ることを前日までは
心にも有りませんでしたのに、また山
頂では松江市雑賀町のご夫婦と昼食を
共にしながら歓談を交わすなど、自治
会、公民館、一般の登山者の別なく楽
しく賑やかな一時を過ごしました。

食後は記念写真を撮って貰ったり、
撮ってあげたりと和気あいあいの時間
が過ぎました。大田より原田萬里先生
が参加され最初から最後まで写真やビ
デオを撮って頂きました。食事や休憩
も終わり、登山の記録等も済まし午後
一時半下山を始めました。

登る時は何とか頑張って歩いた足も
下りる道ではひざ関節が痛み、筋肉も
痛んで皆さんと一緒に下山する事が出
来なくなりました。途中何回も腰を下
ろしては休みダウン寸前で登山道入口
に三人が辿り着いた時は皆さんよりは
るかに遅れて待つて頂いた始末です。
山田集会所に帰ってほっとしました。
本日に楽しかった八百八米の峰の心地
良さと、下山の辛い思い出は一生の良
き思い出となるでしょう。

皆さん本当にご苦勞様でした。

大田桜江線の促進期成同盟会より

副会長 市原仁郎

去る十月六日、久利公民館に於て表記同盟会役員と県・市との連絡協議会が開催された。県と市より四人の方に出席願ひ、「大田桜江線と仁摩瑞穂線の今年度の事業概要と今後の計画について」の報告と質疑が行われた。

「大代バイパス」について県の桜所長は「本事業は長さ千七百六十米、巾十米で平成八年より事業を進めており同十四年度に完了を予定している。

今年度は用地測量と用地買収、井戸の調査を進めている。十二月から年度末迄に買収の七三%、千二百八十米を終えて出来れば工事にかかりたい」との事だった。

高村貢氏より「大代と温泉津川本線迄をつなぐ工事も進めて貰いたい」との質疑に対し、桜所長は「祖式く大代間の改良工事と、井田迄の工事の両方をにらみながら大代バイパスを進めたい。その際、大代住民の声を充分に聞いてから進める」との返事だった。市の建設部長は「県道の改良に伴う

市の負担分は全額確保したいと市長が言っている。(現在建設費の十分の一を市が負担することになっている)市としては今迄投下した資本が有効に活かされる事が第一である」と発言があった。

大代町内を大型道路が走るのこれが初めてであるが、全町民の協力での事業を成功させねばなりません。



俳句

あすなる句会

さわやかや青の洞門二人旅

大田市 原田萬里

カーテンに部屋のはなやぐ秋の夜

下谷 尾崎三枝子

里に出し猿も濡れるる秋時雨

下市 渡 あやこ

茅葺の家や山羊鳴く秋の暮

柿田 横手いちえ

京参り残暑の汗とお念佛

八反田 森 信子

降露坂こえて西田の夜づくはで

椿 花田時子

赤い羽根勤め帰りの人の胸

下市 今田文字

野道ゆく山巖しるき薄紅葉

上市 笹田サチエ

コスモスや腕に眠れる孫の顔

川上 岩田律枝

しゃっくりの止まらぬ厨寒し

椿 柿丸寿枝

★——★ おしらせ ★——★

11月15日、大代町文化祭を小学校で開催します。つきましては皆さんの作品を募集したいと思います。11月14日午後小学校へ直接ご持参下さい。

* 十一月行事予定 *

◆3日(火) 高山登山

◆8日(日) 福祉弁当

◆8日(日) 東京石見高山総会

◆8日(日) 消防ブロック別訓練

◆10日(火) ふれあい教室

ケリ！さんを招いて

◆15日(日) 大代町文化祭

◆20日(金) 幼小公合同同和研修会

◆23日(月) 連合自治会